

令和6年度（2024年度）宝塚市人権教育推進委員会（概要）

会議名	令和6年度（2024年度）第6回 宝塚市人権教育推進委員会
日 時	令和7年（2025年） 1月28日（火） 13：00～15：00
場 所	宝塚市役所 3B会議室
出席数	■ 宮前委員 ■ 能勢委員 ■ 坂本委員 ■ 伴委員 □ 岩室委員 ■ 杉村委員 ■ 奥委員 ■ 井上委員 □ 林委員 □ 福住委員 □ 菅委員 □ 有賀委員 ■ 小玉委員 ■ 川島委員 ■ 久保委員 (■出席／□欠席)
傍聴者	0 名

- 1 開 会
- 2 保護者を対象とした人権教育や人権啓発に関する意識調査について
- 3 2年目の計画について
- 4 各校区における人権教育・啓発の実態について
- 5 その他

事務局：それではただ今より第6回宝塚市人権教育推進委員会を開催いたします。それでは早速審議の方に移っていききたいと思います。はじめに本日の会議の成立についてですが、定数15名に対し、本日の委員出席は9名（その後1名遅れて参加）ですので過半数を超えており、宝塚市人権教育推進委員会規則第5条第2項の規定により、会議が成立していますことをご報告申し上げます。それではこれからの議事進行につきまして、委員会規則、第5条第1項の規定によりまして、坂本委員長にお願いしたいと思います。では委員長よろしく申し上げます。

委員長：まず事務局にお尋ねします。この委員会は原則公開ということになっていますが、本日傍聴者はいらっしゃいますか？

事務局：いらっしゃいません。

委員長：わかりました。それでは議事に入らせていただきます。今回はまず保護者アンケートを今日で確定させたいと思いますので、前回から更新された項目について、事務局から説明がありますので事務局の方、よろしくお願いします。

(事務局から更新された項目について説明)

委員長：質問1、11、24、25、26、28等についての説明がありましたけれども、今から少し時間を取りますので、可能な方はレジメにあります二次元コードを読んでいただいて、改めて回答いただけたらと思います。紙面にて文言の確認をしていただいても構いませんのでお願いします。先ほども言いましたが今日でアンケートを確定させますので、もし修正が必要な部分がありましたら代わりとなる文言も併せてご発言いただけるとありがたいですので、よろしくお願いします。

(委員各自でスマホより回答)

委員長：それでは何かお気づきになった事とか、ご意見等あればお願いします。

委員：3点あります。1点目は1ページの「日々子育て等でお忙しいところではあると思いますが・・・」という所を「日々子育て等でお忙しいとは思いますが・・・」で良いのではないかと思います。2点目は質問30の選択肢で「映画会形式」とあるのを「映画会・コンサート形式」に変えることと最後の質問の後に「質問は以上です。ありがとうございました」と書いたらどうかと思いました。以上3点です。

委員長：では1つ1つ検討したいと思います。1点目についてどうですか？

委員：同じ部分ですが、「つきましては・・・」の最後の文章が「・・・いただき」「・・・いただき」が続くので「下記の留意事項をご一読いただき、アンケートにご回答ください」で良いのではないのでしょうか。それか「お答えください」など、なるべく易しい日本語の方が良いですね。

委員長：「アンケートにお答えください」ですね。今1ページの3行目、4行目、5行目あたりですがこれでよろしいですか。

(特に意見なし)

委員長：次に質問30の選択肢⑨ですが、映画会形式とありますが、コンサートもあるのではないかと思います。ということで映画会・コンサート形式でよろしいでしょうか？

(特に意見なし)

委員長：最後の質問の後に「質問は以上です。ご協力ありがとうございました」という文言を加えるということをお願いします。

委員長：では他に何かあるでしょうか？

委員：複数回答できる場所で、例えば質問3はいくつでも選べるので(いくつでも)という文言を最後につけておいた方が良いと思います。あと、(3つまで)という質問の所に「最大3個のオプションを選択してください」というのが書いてあるのですが、これはいらないと思います。(3つまで)で分かりますよね。あと、書いてあるところとないところがあるので。例えば質問23は入っていないです。

事務局：ありがとうございます。

委員：オプションという言葉は聞き慣れないので、「何かな？」と思いますよね。あと質問33は時間帯の選択肢が6つありますが、これはどれかを選ばせるというわけでないのですかね？

事務局：どのあたりの時間帯に希望が多いかですね。

委員：今のであれば全て選ぶと、どれが希望か分からなくなるので、一番出やすい時間帯を選んでもらうか、いくつまでかにしないと傾向を読めないのではないかなと思いました。

事務局：一つに絞ることで、他の時間帯にも行けるのに、第2希望が実は総数として多いみたいな場合もあるのかなというあたりで、希望される所を全部選んでおいてもらおうと、皆さんの行きやすい時

間帯の傾向が分かるので、制限するとすれば3つまでかなと思います。(3つまで) にします。

委員長：では質問33は(3つまで)ということで変更します。

委員：質問21「学校で行われる保護者や地域の方を対象にした人権に関する研修会・・・」とありますが、保育園とかではやってないのでしょうか？

委員長：そこも幼稚園・保育園をプラスするということによろしいですね。

委員：質問25「各小学校区に設置されている校区人権啓発推進委員会が行っている市民集会に参加されたことがありますか？」ですが、市民集会に限定されたのはなぜでしょうか？市民集会といわれて、分かる人がどれくらいいるのかなと思います。

委員：行ったことがある人なら分かるかもしれないので、「ある」の方にチェックを入れます。市民集会と聞いてぴんと来ない人は「ない」を選びます。

委員：校区人権は元々市民集会が主眼ですね。私たちは、市民集会はすぐに分かるつもりでいます。市民集会を知らないということは、校区人権を知らないということです。そういう解釈だと思います。

委員：年間に3回の学習会と1回の市民集会があります。だから学習会と市民集会の違いが分からない人もいます。市民集会は校区にいる人が年に1回必ず集まりましょうという会ですから、地域に広くお知らせはします。23校区を見たときに市民集会が大々的な所とこじんまりした所があるので、市民集会に特化する必要はないのかなと思います。

事務局：「各小学校区に設置されている校区人権啓発推進委員会が行っている学習会・啓発活動・市民集会に参加されたことがありますか？」のようにすべて入れた方が分かりやすいということであれば、入れた方がよいと思います。

委員：入れていただけると嬉しいです。

委員長：では学習会・啓発活動・市民集会の3つを入れるということでいきます。それではその他何かありませんか？

(特に意見なし)

委員長：それでは今皆さんから出していただいた意見を加えるということでいけるとと思いますので、この形で確定ということでさせていただきます。それでは保護者用の人権アンケートについてはこれで決定したいと思いますのでよろしくお願いします。

委員長：続きまして実施時期、期間等の検討はどうでしょうか？

事務局：事務局の方である程度決めさせていただいて良ければそれでいきますが、もし何かご示唆があればお伺いしたいと思います。

委員長：今はどんな感じで予定されていますか？

事務局：今からですと2月の中旬から下旬あたりから1か月間くらいが大まかな見通しです。できれば年度はまたぎたくないです。

委員長：では今日決定しましたので、修正をしていただいて、出来上がったものを2月の中旬くらいから約1か月かけて修業式くらいまでに回答を得るということで進めたいという提案ですが、それではよろしいですか？

(特に意見なし)

委員長：では実施時期と期間はそれをお願いします。

事務局：学校園所と調整をしますので、少し後ろにずれるかもしれませんが、そのように進めたいと思います。

委員長：次は2年目の計画ということで、来年度の年間計画の作成をしていきたいと思います。まず事務局より説明をお願いします。

事務局：第1回の推進委員会でお伝えした通り、市の人権啓発を進化、拡充するためにどのように取り組むと良いのかということを2年間で議論を進めていただきます。これにつきましては、保護者に対してという視点と地域に対しての視点の2方向からの捉えで協議をしていただくとありがたいと思っています。

また、「先生と市民のための人権教育・啓発パンフレット」の内容の確認も2年目にお願いしたいと思います。よって大きくこの3つの項目について2年目の最後に答申をいただくという形になります。それに向かって皆さまには残りの推進委員会でどのような議論を進めていただくのが良いのか、という計画を一緒に立てていただけたらと思います。

年間計画案をご覧ください。3つの項目を並行して行うような形の計画にはなっていますが、ひとつの項目を集中して行っても煮詰まってしまうたり、反対にそれだけを議題にしてしまっても、時間が余ることがあっても勿体ない部分もありますので、「この時期にはこれくらいを」というような事をベースで書かせていただいています。1回ずつの時間のかけ方につきましては、内容によって軽重をつけていただくと良いかと思います。特にパンフレットの確認作業は、会の終了15分前くらいにコツコツと少しずつ確認というやり方も可能かと考えています。あくまで年間計画は案ということですので、今から委員の皆さまのご意見をもとに議題の内容や実施時期等ご検討いただけたらと思います。

委員長：この年間計画の案にも3つの柱があります。保護者に対してというのは今決定した保護者用のアンケートについて調査し、分析を進めていくという方向になります。次に地域に対してというのがありますが、これは地域についても調査をするということで良いのでしょうか？

事務局：現状課題の正確な把握というためには、ある程度必要ではないかと考えています。地域に向けての人権啓発については、市教委としては主に宝同協に委託した中で、校区人権啓発部等を中心に行っていると捉えています。委員の中には、そこに関わっていただいている方もおられますが、実際にどういう課題があるのかを的確に捉えるためには、校区人権啓発部の役員の皆さまに課題の調査を依頼するということができないかと思っています。

これまでどこにアンケートを取れば良いのかという所で、これから調整にはなるのですが、宝同協を通じて調査を行うことは可能ではないかと考えています。また、実際に調査をするといった場合、レジメの5番目「各校区における人権教育・啓発の実態について、課題の把握の方法、課題解決のための手立て」のような議題でまたご意見をいただくことになりますが、委員の皆さまの中にも校区人権に深く関わっている方もおられますので、調査をする上での具体的な課題の例を挙げていただいて、それを用いた選択肢の調査のような形で行うことができないかというのを考えています。調査を行うということは考えていますので、年間計画の方もそのような形で作成いただければと思っています。

委員長：これまでは委員の皆さんの例えば所属団体であるとか、そういった所に調査をしてはどうかとい

うことがありましたが、今回事務局の方から宝同協を母体として、宝同協に委託した中で校区人権の方の主に役員を対象として調査を行うという方針案が出されましたが、どうでしょうか？

委 員：その役員の方は何人くらいいらっしゃいますか？

事務局：実際に各校区の理事さんと言いますか、どのあたりが良いのか、是非ご意見をいただきたいところではあるのですが。

委 員：校区人権全体では、最小でしたら理事の２３人です。

委 員：アンケートをするのであれば、数が小さすぎるとものすごく左右にブレてしまうので、対象が少ない時は、あまり向いてないと思いますので、だいたいの人数がどのくらいかによってやり方が変わると思います。

事務局：実際は校区の中で同じ課題になりがちなという捉えもあるのですが、同じ校区の中で答える方によって課題意識がピッタリ一緒ではないにしろ、おおまか同じになるかと思いますが。そのあたりいかがでしょうか？

委 員：理事でしたら理事会の時に「こういう事困っています」ということをみんな結構言っているの、そこはもうある程度分かっているのですね。市役所の方にもそれは伝えてきています。「こういう所困っているのをお願いします」って言って「検討します」っていつもいただくので、それができているかどうかは別にして、理事の困っている事とか、大体同じことで困っているのですが、そういうことは伝えてあるので、理事だけに聞いても話が進まない。それ以外の人に聞いても、たぶん一般の人に聞くのと同じくらい話が分からない方も多いので、調査をするのであればもう少し広げないと固まってくると思います。

委 員：この地域という時に、校区人権の役員の人というのは今回のアンケートの対象の方とだぶらないのですか？

委 員：保護者ということですか？

委 員：そうです。

委 員：何人かいらっしゃいます。

委 員：そこがすごく被ってしまうのであれば勿体ないといえば勿体ないし。そんなに被らないですか？

事務局：質問内容が全く変わるというか、課題を挙げてくださいという形で自由記述になると、集計が大変なので、この後、そういう記述として挙がってきたような内容をここで挙げていただいて、元からこちらが選択肢として与えて、当てはまるもの全てにチェックしてくださいという形で、その多いものを現状の課題みたいな形でというのがひとつ見通しとして持っています。

委 員：この「地域に対して」というのは、私も宝塚市民ではないので校区人権についてのイメージがきっちりできていないのですが、校区で人権教育を担っていく役に当たっている人に対しての調査ということになる感じでしょうか？

委 員：言い方は良くないけど、たぶん来てくださる方と委員長さん以外是一緒だと思ってもらう方が良いかと思います。市の職員さんにも応援に来てもらっていますが、その方たちと委員長さん以外で動いてくださっている方って同じくらいの理解度です。なので来てくださっている方とお迎えしている方がほぼ一緒に勉強会をして進めています。委員長だけがひたすら必死になって走り回

っています。どこの校区も大体そんな感じが多いので、特別に下積みのある校区は別として、それ以外の所はほとんど意見が出ないと思います。うちの校区はずっと私ひとりでやってきていましたから、私以外の意見は出ないと思います。

委員：地域人権教育活動推進員という方が各校区にいますが、その方々がなぜか校区人権に入っていない校区もあるのですね。定員を満たしていない校区もあるので難しいですね。

委員：地域と言った時に市教委はどこを地域として見ようとしているのか、今回は保護者で、次は地域に対してということであれば、どこを見ようとしているのか、「まずはそこをしっかりとっておかない」というところで、私がちょっと聞いている部分ではあるのですが。

委員：校区人権に頼めば宝同協という組織があるのできっちりと聞いてもらうことができるという考え方ではないでしょうか。

事務局：地域人権教育活動推進員がいない校区があります。反対に校区人権は必ずどの校区にもあって、活動はしていただいているので。初めは学校教育課が所管している地域人権教育活動推進員に聞くのが良いと思っていましたが、できない校区があったり、活動推進員になってはいるけれど、校区人権に入っていないという方もいらっしゃるの、結局校区の中で漏れが出たり、ばらつきが起きてしまうので。となると地域での啓発となると校区人権になるのかなという整理になっています。理事さんが抱える悩みと理事さんでない1年交代の方では悩みも違うと思うので、そこを浮き彫りにすることで、理事さんの悩みと1年交代の方の悩みをどうやれば上手くいくか、みたいな話が2年目にできると良いなと思っています。

委員：校区人権の方々の意識を分析して、そこを活発化すれば地域における人権教育ももう少し根差したものになっていくだろうという見込みがあつてのアンケートでしょうか？

事務局：今まで宝同協の理事会で、課題等は挙げていただいているというのは聞いていますが、それをどう解決するという場が今までなかったのではないかなと思います。この1年、2年だけでなく、ずっとなかったのではないかなと思います。今回推進委員会の皆さんに、そこについて一定のお答えをいただく、それをまた宝同協に返していった、推進委員会の皆さんでこんな風にやってはどうかという意見が出ましたが、どうですか？というような形を取れないものかという流れをイメージしています。

委員：校区に意見をいただいた所で実際に動ける学校と動けない学校があつて、それを校区が受け止められるかという私の校区は無理です。今の時点で私が一人で動いている状況で私に全部返された時に、「ではそれで頑張ります」というのは重たすぎて無理ですね。

委員：初歩的なことを聞きますが、保護者あてに作ったようなアンケートを来年、地域あてに作るということでしょうか？

事務局：今回は校区人権を持続可能なものにしていくための課題は何か？自由にお書きください。で集めるようなイメージです。ただ、全部記述で書かれると集約が大変なので、こういうことを書かれそうだなという選択肢を挙げていただいて、こちらで選択肢として出した上で当てはまるものにチェックを入れてくださいみたいなイメージです。だから設問数は2～3個になると思います。

委員：校区人権の思い出は、人権の学習会や研修会にどれだけ人が来てくれるかということに終始していました。校区人権の委員長さんが頑張って、講師の選択や人集めにエネルギーを使っていました。アンケートを取る趣旨がちょっとわからないです。取って誰がどう生かすのかという感じがします。

委 員：義務として1年間一生懸命してくださるけど、1年経ったらもう終わりというので、毎年賽の河原状態です。積み上げて一緒に勉強しても次の年はゼロになる。その繰り返しです。「人権を我が事として学習しないといけないと思うのにどうしたら良いか？」という内容で地域の方々や市民のアンケートみたいなものをしないといけないのかなと思ったりします。

委員長：校区人権の運営に関する悩みが出てくるのかなと思いますが、それを聞くのはどうですか？ありますか？

事務局：今お話にもあったものでも、「自分一人しかいない」とか「入った人はお客さん状態だ」とか結局いろいろ話題が出てくるのを本当にどれが喫緊の解決すべき課題なのかみたいなものが調査から分かってくれば、取り急ぎそこからできないかとか、反対に少し少ないけどここからだったら出来そうだなみたいなことを皆で考えていく必要があると思っています。これは意識が高いか低いかの調査ではなくて、あくまでどういったものに困り感を抱いているかということのを宝同協の方で挙げていただいていたものが、結局形になって返る場面がなかったというのを私の方で確認している部分もあるので、そこにしっかりと対応していかないといけないので、そのきっかけになればというところは大きいかなと思います。

委員長：すでに校区人権の困り事というのは、宝同協に挙がっているもので、それを一つ一つここで皆さんに見ていただいて、改善点を考えていくことの方が必要なのかなと思います。

委 員：アンケート調査というのは、今回みたいなフォームズでやるイメージなんですね？

事務局：まさにおっしゃっていただいたように、困っている事は何ですか？いくつでもみたいな。人不足とか、進める人がいないとかいうのが並んでいて、当てはまるものに全部チェックしていただくくらいだと、答えやすい形かなと思います。

委 員：宮前委員が言われたようにアンケートをする上で数というのは大事になってくると思いますので今言っている数は100から200くらいなので、そこでアンケートを取るとというのは難しいかなと思います。

それからこれは宝同協から推進委員会に対して、調べてほしいと依頼されているものではないし、事務局の思いとしてこれがあつた方が良いというところなので、仮にアンケートを取って、宝同協に投げた時に宝同協はどう反応されるかと思った時にちょっとこの会の立ち位置と宝同協の立ち位置を含めて、難しいのではないかと思います。校区人権については、まず宝同協の中で考える話だと思います。

委員長：保護者アンケートからも地域での人権啓発の課題はいくつか拾えると思いますので、あらためてアンケートを取るというより、保護者アンケートの検証をした上で校区人権と関係のあるような所を引っ張り出して、改善に向けての良い方法が考えられたらと思います。

委 員：アンケートを2月下旬くらいから1か月かけて取られるということですが、これの分析はどなたが行うのですか？

事務局：今回の場合は大学の先生に委託するということはないので、みなさんと協力してできる範囲の分析をしながらになると思います。

委 員：それもしながら地域に対するアンケートは大変ですね。

委 員：先にその分析結果が来年度の1回目、第8回とかに出てくるのであれば、そこで課題が見えてきて、「地域に対してどういう声掛けができるのか」とか「研修会の持ち方をどうしていくのか」とか、そのあたりが詰められていけば、結局1年間で終わってしまうのではないかと思います。パ

ンフレットの見直しも結構時間がかかりますよね？

事務局：今回は大幅な改定ではないので。

委 員：全員が前回から引き継いでいるわけでもないの、ある一定、時間を見ながらしていかなないと切羽詰まってできないのではないかと思いますのですが。

委員長：保護者アンケートの結果をまず見て、学校だけでできることではないので、「これは地域に、これはここに」というのが出てくるので、それを整理してそれぞれで良い方法があるか、改善策があるか、どうやったら人が集められるか、どうやったら校区人権の人が増えるかというような話し合いをしていけばどうかと思いますので、基本はこの保護者アンケート一本でいくというのはどうでしょうか？

委 員：パンフレットは絶対に変えないといけないのでしょうか？

事務局：作り直すというイメージよりも、社会の中で、日々アップデートされている人権課題で、今や遅れてしまっていないかという部分を見直すというところなので、基本変えないに越したことはありません。

委員長：パンフレットの改定も必要ということで、そちらにも時間がかかるということですので、まずは保護者アンケートの分析ということが第一なのかと思いますけど、いかがでしょうか？

事務局：年間計画を改めてご覧いただいて、こちらがお願いしている「宝塚市の人権教育と啓発を担う人材を育成するための講座や研修のあり方などを地域に対してどのようにすると良いか？」というお答えを出していただくというのは絶対にさせていただきたいと思います。そのお答えを何に対して答えるのだというところについての課題把握というのがこの保護者アンケートでできるというふうに見込んで進むのであれば良いと思います。

委員長：それと校区人権については教育委員会に課題とか困りごとが挙がっているわけですから、それも出してもらって、含めて検討はできるのではないかと思いますけどどうでしょうか？

(特に意見なし)

委員長：それでは、この年間計画の3つの項目はそのままですけど、基本にするのが保護者アンケートと、これまで校区人権から挙がってきているご意見とか課題とか、そういったものを一緒に出してもらってこの3本立てで進めていくという形が良いと思います。

委 員：期間ですが、そうすると7年度の1、2、3回あたりを早くしないといけないと思いますが。

事務局：保護者アンケートの結果だけであれば、シンプルなものであればすぐには出ると思います。

委 員：それをここで分析するわけですね。それなら分析するのを早くして、それともある程度どこかが分析してくれることがあるのですか？

委員長：それはないです。

委 員：1学期中に分析、まとめくらいしておかないと後が・・・。

委員長：そうですね。手立てが遅くなりますから。フォームズでのアンケートですから、多分結果はすぐに出ると思いますので、令和7年度の1回目、2回目あたりで分析を終えてしまわないといけな

というご意見が出ています。そんな方向で年間計画を考えていただくということでお願いします。
3月13日の推進委員会はどんな内容になりますか？ここでは地域のアンケートの形を決めるということで予定していたと思いますが、それが無いということになりますと、3月13日の会は必要になりますか？

委員：パンフレット改定の話ができれば良いのではないのでしょうか。

委員長：それでは3月13日は主にパンフレットの内容確認をお願いしたいと思います。

委員：パンフレットについて、今回の保護者アンケートの結果はあまり意識する必要はありませんか？
項目でいうとアンケートの項目の中味と全く関係ないと言い切れない感じの雰囲気もしますね。

委員長：次回パンフレットを確認する際は、まだアンケートの結果は出てはこないのので、それを少し置いておいて、それ以外の項目を見つけて探して考えていくということで良いですね。

事務局：途中経過をお出しすることは一定可能かなと思います。パンフレットは市民向けと教師向けと大きく分かれていますので、全員で全部見るというよりは、2つのグループに分かれていただいた上で、さらに自分の担当を何ページずつか決めていただいた方が現実的には取り組みやすいと思います。

委員：保護者アンケートの報告書のイメージは？グラフだけで見れば良いのであれば、それでおしまいなのですが、それがどこまでをイメージされているのかによっても、それができる時期が変わるのかなと思います。

事務局：保護者アンケート自体は、意識調査をして報告をすることを目的としているというのが本来だと思いますが、この調査自体がそもそも今の課題に対して、現状を把握するというところに比重があるもので、丁寧なもので返していくことをどれくらいすると良いかということをご協議いただくと良いのかと思っています。

昨年であると教職員の人権意識調査を取りまして、それを学校現場にしっかりと返して学校でいろいろ取り組んでくださいということを目的に行いましたので、それは丁寧な分析も必要だと思うのですが、今回は課題がこうだと分かったからこうしていくように教育委員会並びに地域の方でこんなふうにしたらどうですか？というような部分に重きがあるという形でいけないものかと思っています。

委員長：来年の3月に答申とありますが、これはどこに答申するのですか？

事務局：教育委員会の審議会ですので教育委員会です。

委員長：教育長に答申を出すということですね。

委員長：それでは大体の方向性が見えてきたと思いますし、次回3月にはパンフレット中心にということで決めてこられたと思いますが、他に何か皆さんの方からご意見とか、事務局から連絡等とかありましたらお願いします。

(特になし)

委員長：パンフレットですが、次回までにできる限り全ページを一読してくるということで確認したいと思いますので、よろしくお願いします。

委員：8回目、9回目は4月、5月、6月あたりと思っていたら良いですか？

委員長：8回目は4月で開催できますか？5月ですか？

委員：とりあえずアンケートの最初の結果が出るのが、5月下旬まで待たなくても良いのであれば。

委員長：4月下旬あたりで一度集まれたらと思いますのでお願いします。

それでは次回第7回は3月13日の10時から12時までで場所は後日連絡があるということでお願いしたいと思います。では、これで本日の会議を終わりたいと思います。長時間ありがとうございました。